校区社会福祉協議会事業の共同募金の使いみち

(令和5年度事業:博多区版)

この資料は、令和4年度にお寄せいただいた共同募金の配分金を活用して、福岡市内の校区社会福祉協議会が 令和5年度に実施した事業で、イチオシの事業をまとめたものです。





福岡県共同募金福岡市支会

この資料は、共同募金の配分金を活用して実施された事業を紹介しています。

校区	イチオシ事業名称	頁
御供所	高齢者配食事業	1
大 浜	4 倍成人式	2
奈 良 屋	福岡博多大空襲を歌い継ぐ	3
冷泉	夏休みのラジオ体操	4
住 吉	高齢者会食会	5
美 野 島	ふれあいサロン美野島	6
東住吉	高齢者会食会	7
春住	ふれあい会食会	8
千 代	ふれあいフェスタ千代	9
堅粕	社協のつどい「みまもりマップづくり」	10
東光	にじの会	11
吉塚	委員研修会(講演会)	12
東吉塚	地域団体交流会	13
那 珂	敬老の日祝賀事業	14
弥 生	小学生福祉体験	15
板付	シニアの集い	16
板 付 北	高齢者会食会	17
那珂南	なかいいカフェ	18
三 筑	三筑のびのびサロン	19
席田	席田オータムフェスタ	20
月 隈	子育て交流サロン こぐまサロン	21
東月隈	高齢者演奏会	22



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】博多校区御供所社会福祉協議会

高齡者配食事業

こんな活動をしています

75歳以上の高齢者を対象に、ボランティ アが直接高齢者の自宅を訪問、お弁当等を 手渡しし、安否確認や生活状況を聞き取る などして、見守り活動を行っています。

工夫していること

配布する物は、相手が受け取りやすい物 を考えています。夏の配布時には、熱中症 のチラシも渡して注意喚起を行いました。 ボランティアは「できる範囲で」をモッ トーに活動を続けています。

開催日: ①令和5年7月21日(金) ②令和5年11月18日(土)

●参加人数:①100名 ②100名



3 大事にしていること

この事業をきっかけに、高齢者とさりげ ない交流を行い、状況を確認することがで きます。

また、人と人とのつながりを大切にする ことで、安心して暮らせるまちづくりをめ ざしています。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】博多校区大浜社会福祉協議会

共同募金助成事業

4倍成人式

こんな活動をしています

年度内に80歳(傘寿)を迎える方のお祝い

- 20才(旧成人式)×4回が「4倍成人式」の意味です。
- 式当日、社会福祉協議会他協働団体からはお祝い状を、 地域の保育園園児からは手作りメダルを、お一人お一人 に授与し感謝の気持ちを表しています。
- お楽しみ会
 - 園児(年長さん)からのお祝いビデオメッセージ
 - 参加者全員で歌、ビンゴゲーム、お手玉フリース ローなど

工夫していること

民生委員児童委員に、年度内80才の方の調査と式への参 加依頼をお願いし、式当日もお世話していただいています。 また、地域のみなと保育園と連携、その他、食生活改善推 進協議会(元々、75才以上を対象に食事会を併せて行って いたので) やふれあいネットワーク、公民館の皆さんと協 働して、「傘寿」対象者をお祝いしています。厳かな式典 より、手作り感満載の「お楽しみ会」など参加型の式を開 催しています。

開催日:令和5年11月14日(火)

参加人数:26名(対象者6名)

開催場所:大浜公民館講堂





大事にしていること

4倍成人式をはじめとして社協の活動ではすべて "私の笑顔をあなたに!あなたの笑顔を私に!"

をモットーに、楽しむ集いを大切にしています。事業 を通して知りあった人同士がつながりあうことで、挨 拶を交わしたり、社協その他の事業に参加したり、ご 近所づきあいの延長でそれぞれができることで支えあ う地域づくりをめざしています。

"そうたい(みんなで)!作ろう!よか大浜"



令和5年度 共同募金の使いみち【博多区】博多校区奈良屋社会福祉協議会

共同募金助成事業

福岡博多大空襲を歌い継ぐ

1 こんな活動をしています

合唱曲『焦土に涙す(作詞:持田勝穂/作曲:森脇憲三)』を練習し、慰霊祭や追悼式・高齢者サロンイベント等で歌っています。北原白秋の弟子である作詞者は奈良屋地区在住の歌人です。この歌を通して戦争の悲惨さを伝え、平和の大切さを考える機会を作っています。

2 工夫していること

香椎ふれあい一座が実体験を元に作った朗読 劇『十五銀行から逃れた信子』の劇中歌として 歌っています。この日は、映像化した紙芝居や 当時の写真などと共に上演して合唱し、福岡博 多大空襲の実相を中学生に伝えました。生徒達 の感想には恐ろしさの実感・戦争や平和につい て考えた事等が書かれていました。 開催日:令和5年6月19日(月)

開催場所:博多中学校

参加人数:175名



3 大事にしていること

奈良屋地区は1945年6月19日の大空襲 で甚大な被害を受けました。博多駅から 博多湾まで見渡せるような焼け野が原に 旧奈良屋小学校の校舎だけが焼け残り、 住民は逃げまどい死傷者も多かったので す。この事実を伝え、平和を希求する意 思を繋いでいくことを大事にしています。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】博多校区冷泉社会福祉協議会

共同募金助成事業

夏休みのラジオ体操

こんな活動をしています

商業地区で子どもが少ない地域なので、 子どもが集まる行事を企画しています。 夏休みはラジオ体操を実施しています。

開催日:令和5年7月24日(月)~8月10日(木)

参加人数:延1,140名

開催場所:櫛田神社



工夫していること

時間をラジオの放送時間の午前6時30分 にしています。時間が早いので、親子での 参加も多く、大人の見守りも多くいます。

大事にしていること

子どもの健全育成のため、毎年続けて います。時代や状況にあわせて、期間や やり方を変更していますが、今後も続け ていきたいと思っています。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】住吉校区住吉社会福祉協議会

共同募金助成事業

高齡者会食会

こんな活動をしています

住吉地区では、年に1回、地域の高齢者 を対象にした会食会を開催しています。参 加者には弁当を振舞い、みんなで食事をと りながら互いの近況について談笑する機会 を設けています。

開催日:令和5年11月20日(月)

参加人数:20名

開催場所:住吉公民館





工夫していること

コロナウイルスの感染者数はピーク 時より減少しましたが、検温と手指消 毒を徹底し、できるだけ密にならない よう、間隔を空けて食事を楽しんでい ただいています。

大事にしていること

自宅でゆっくり過ごすことも大切ですが、 少しでも家を出て、地域住民同士で交流を することが何よりもの健康につながると考 えます。社協の役割として、地域住民が気 軽に集える場を設けることを大切にしてい ます。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】住吉校区美野島社会福祉協議会

ふれあいサロン美野島

こんな活動をしています

住吉校区美野島社会福祉協議会では、毎 月第4月曜日に地域の高齢者の集いの場と して、ふれあいサロンを開催しています。 ダーツや空き缶釣り、工作等のプログラム に加え、かるたやクリスマス会等、季節の イベントも行っています。

開催日:毎月第4月曜日

参加人数:10名

開催場所:美野島公民館





工夫していること

ふれあいサロン美野島では、自宅の資源 や百均のアイテムを活用した工作をプログ ラムに取り入れています。工作は手先の細 かなトレーニングになることに加え、自宅 に持ち帰って楽しむことができるため、参 加者から好評のプログラムになっています。

大事にしていること

ふれあいサロン美野島では、笑いが絶 えない活動になることを心がけています。 また、手を動かす作業や皆さんで声を 出してもらう内容を取り入れることで、 参加型の活動になることを大切にしてい ます。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】東住吉校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

高齡者会食会

こんな活動をしています

校区に住む80歳以上の方を対象として、 地域の方同士の交流を深めるために会食会 を開催しています。令和5年度は歌や踊り をされているグループの方々に来ていただ き、みなさんと一緒に楽しみました。

工夫していること

自治会長・民生委員等にも来ていただい ています。普段閉じこもりがちの方もいま すが、会食会を通して地域での顔の見える 関係性をつくっていけるよう工夫していま

開催日:令和5年12月3日(日)

参加人数:51名

開催場所:東住吉公民館



大事にしていること

コロナ禍で会食会を中止せざるを得な くなった年もありましたが、地域のつな がりをつくっていくために、継続してい けるよう取り組んでいきたいと思います。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】春住校区社会福祉協議会

ふれあい会食会

こんな活動をしています

高齢者のみなさんが、食事を通して楽 しく交流できるよう、会食会を開催してい ます。

工夫していること

みなさんに喜んでもらえるようなプロ グラムを考えています。

令和5年度は三味線サークルの方々に来 ていただき、演奏を楽しみました!

開催日:令和5年11月10日(金)

参加人数:44名

開催場所:春住公民館



大事にしていること

日頃は一人で食事をされている方も、 ここでは和気あいあいと食事できるよう な場になるよう心がけています。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】千代校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

ふれあいフェスタ千代

1 こんな活動をしています

この活動は、ステージイベントや啓発コーナー、販売や展示等を行うイベントで、2000年から始まり、コロナ禍を経て2023年で20回目を迎えました。この取り組みの主な目的は次の3点です。

- ①誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり。
- ②幼児から高齢者まで三世代間交流
- ③各種団体の発表・啓発の場

自治協議会、各種団体以外にも、小中学校PTA、公民館、まちづくり館、博多青松高校、福岡スクールオブミュージック、博多警察署・博多消防署そして福岡市社会福祉協議会にもご協力していただいています。

●開催日:令和5年11月26日(日)

参加人数:約900名

● 開催場所:千代小学校



上は体育館内ステージ 右はグラウンドで車椅子体験



2 工夫していること

啓発活動を行いながらも、皆さんに楽しんでいただける催しとするために、ステージ部門では子どもたちのダンスを始め、車椅子ダンス、手話ダンスと多彩な催しを行います。フリーマーケットも行い、リユース・リサイクルへの取り組みも行っています。

ステージ出演者の昼食は食進会・男女共同参画協議会の協力を得て準備し、子どもたちに人気の綿菓子などの用意もPTAでして頂いています。自主防災では長期保存のきく水や食品の紹介もして非日常への対応も呼びかけています。

3 大事にしていること

地域の中でのつながりがとても大切だと考えます。 千代校区では「おいさ博多事業者ネットワーク連絡 会」という、医療・介護関係の20近くの事業所から なる団体の協力も受けています。「ふれあいフェス タ」に限らず「まちの保健室」を通した医療や介護 の相談にもプロとしての意見を聞くことが出来て、 たいへん有り難いです。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】堅粕校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

社協のつどい「みまもりマップづくり」

こんな活動をしています

「目で見て町内の見守り状況が分かる」 マップづくりを通年の事業として行ってい ます。見守り支援者である「自治会長、町 内会長」「民生委員・児童委員」が町内毎 のグループを組み、前年度のマップを見な がら、対象者の状況を確認し、本年度の マップを作成しています。

工夫していること

本年度は、災害時の見守りについて意識 を高めるために、校区内に居住する防災士 により「防災について」の講話を受けまし た。今後、災害時の対応について話し合っ ていく予定です。

●開催日:令和5年10月14日(土)

●参加人数:28名 ● 会場:堅粕公民館



3 大事にしていること

見守り支援者である「自治会長、町内会 長」「民生委員・児童委員」が退任、交代 した際は、「みまもりマップづくり」の中 で、「見守りとは」「ネットワーク活動と は」の説明を行い、支援者同士の認識共有 を行っています。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】東光校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

にじの会

こんな活動をしています

校区に住む人たちが年齢に関係なく交流 できる場として、茶話会を開催しています。

工夫していること

お茶菓子や、簡単な脳トレ等を用意し て、参加者同士が気軽に交流できるような 雰囲気づくりを心掛けています。

開催日:毎月第4金曜日

参加人数:30名程度

開催場所:東光会館



大事にしていること

毎回参加を心待ちにされている人がい らっしゃいます。校区の居場所の一つと なるよう、できるだけ休まず続けていく ことを大事にしています。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】吉塚校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

委員研修会(講演

こんな活動をしています

令和4年度から委員研修会が再開しました。 今回は、「暮らしに役立つ 睡眠と健康の知 恵袋」と題して、講師のお話、健康チェック 測定会(血管年齢、ベジチェック、自律神経 チェッカー) が行われました。学んだ事を ネットワーク訪問時に高齢者等にも伝えるな ど、広く住民の健康づくりに取り組んでいき たいと思います。

工夫していること

健康を維持するためには、現在の自分自 身の健康状態を把握することが必要です。 専門の機器を使用した健康チェックを定期 的に行い、委員の皆さんが、自身の健康状 態を知るきっかけづくりを行っています。

参加人数:35名

開催場所:吉塚会館



大事にしていること

人生100年時代を迎え、健康に年を重ね ることを誰もが望んでいます。特に睡眠 は生存するためにどうしても必要な行為 で、生活リズムや睡眠環境を整えること が重要です。よい睡眠をとる方法を学び



令和5年度 共同募金の使いみち

【博多区】東吉塚校区社会福祉協議会

地域団体交流会

共同募金助成事業

1 こんな活動をしています

年に1回、自治・町内会長、部会長、民生委員、校区の諸団体の代表者が、校区・町内の事について意見交換をしています。そこで、改善しなければならない事があれば、問題解決に向けて話し合いをします。

2 工夫していること

「地域団体交流会」でしか自治・町内会 長、部会長と民生委員の方が顔を合わせる 機会がなく、なかなか踏み込んで話し合い ができないのが現状です。そこで、令和5年 度は親睦をかねて熊本地震復興視察のバス 研修を行いました。 開催日:令和5年6月11日(日)



旧東海大学阿蘇キャンパスで説明を受けている様子

3 大事にしていること

自治・町内会長、部会長と民生委員が一緒に熊本地震の爪痕・復興の様子を視察したことで、校区・町内の問題解決に向けて、机上だけでは思いつかいないアイデア等が浮かび、前向きに意見交換をすることができました。 このバス研修を通して、自治・町内会長と民生委員・諸団体の方との絆が深まった様に感じます。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】那珂校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

敬老の日祝賀事業

こんな活動をしています

毎年、9月の「敬老の日」に共同募金助 成金を財源として校区にお住まいの75歳以 上の方に「敬老のお祝い品」(煎茶)をお届 けしています。

大事にしていること 工夫していること

- ①校区実行委員会を立ち上げて各地域団 体・町内が一体となって取り組んでいます。 ②特にお一人住まいの方等に声かけをして
- 安否確認をしています。
- ③「お祝い品」は1軒1軒丁寧に訪問してお 届けしています。

開催日:令和5年9月 🌑 参加人数:1,500名



「敬老の日祝賀事業」は、多くの高齢 者の状況把握ができることに加え、地域 が高齢者とふれあうことで、親しみが生 じ、地域のあたたかいつながりづくりに 繋がっています。年に一度の事業ですが、 今後も継続して実施していくことを大切 にしていきたいです。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】弥生校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

小学生福祉体験

こんな活動をしています

小学生に福祉活動に関心を持ってもらえ るように毎年開催していました。コロナ禍 で自粛していましたが、令和5年度から再 開しました。小学4年生を対象に、アイマ スク・車イスの体験学習を行いました。

開催日:令和5年6月27日(火)

参加人数:61名

開催場所:弥生小学校





工夫していること

目が不自由な方や車イスを利用されてい る方が、普段、どのように生活されている かを感じてもらうため、体験のコースをエ 夫しました。階段や段差の上り下りや、学 校外の歩道も使用しました。

大事にしていること

障がいのある人が、どの様な不自由 さを感じているかを体験し、どんな時 にどの様なお手伝いが自分たちにもで きるかを考えます。



令和5年度 共同募金の使いみち

【博多区】板付校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

シニアの集い

1 こんな活動をしています

校区の75歳以上の方の集いです。人数が 多いため、春、秋と2回に分けて行います。 歌やダンス、落語等…いろいろな催しを楽 しみます。お昼は、お弁当を持ち帰って、 自宅でゆっくり召し上がってもらいます。

2 工夫していること

民生委員さんの協力で、より多くの方に案内を配付し参加してもらいます。会場まで遠くて不便な方達は、校区内の高齢者施設に送迎してもらい、とても喜ばれています。

●開催日:①令和5年5月27日(土) ②令和5年11月25日(土)

▶参加人数:①130名 ②100名● 開催場所:板付小学校体育館







3 大事にしていること

行事に参加される方はもちろん楽しむ♪ それを支えるボランティアさんも楽しむ♪ そして、みんなが顔見知りになって仲良し♪ の校区を目指しています。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】板付北校区社会福祉協議会

高齡者会食会

共同募金助成事業

こんな活動をしています

75歳以上の高齢者を対象に会食会を実施 しています。コロナ禍により自粛していま したが、4年ぶりに開催しました。高齢者 の方が閉じこもりにならないように、地域 住民とのふれあいの場をつくっています。

開催日:令和6年2月15日(木)

参加人数:60名

開催場所:板付北会館





工夫していること

社会福祉協議会のスタッフが、美味しい ものをバランスよく食べていただけるよう にメニューを考えました。全て手作りの料 理を用意しました。

大事にしていること

参加者が顔を合わせることで、健康状 態等を確認できます。また、外出し他の 方と楽しく会話をすることで、気持ちも 前向きになっていただくことができまし



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】那珂南校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

なかいいカフェ

こんな活動をしています

だれでも気軽に立ち寄ってお話できる場 として、月1回のカフェ事業を行っていま す。淹れたてのコーヒーと各種イベントを ご用意して、みなさまに楽しんでいただい ています。

工夫していること

子どもから高齢者まで幅広く楽しんでも らえるように、参加型を含めたプログラム を計画して実施しています。

● 写真はクリスマスの会で、参加者も 一緒にハンドベルを演奏している様子です。 開催日:奇数月第4月曜日、偶数月第4水曜日

参加人数:395名

●開催場所:那珂南公民館



大事にしていること

参加者同士はもちろんですが、他町の 人達とも気軽に会話ができるようにス タッフは心がけています。

老若男女気軽に寄れる場所にしたいです。



令和5年度 共同募金の使いみち

【博多区】三筑校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

三筑のびのびサロン

1 こんな活動をしています

毎月第2金曜日午前10時から正午まで、子育て交流サロン「三筑のびのびサロン」を、三筑公民館で開催しています。小学校入学前の乳幼児とその保護者が参加しています。おもちゃや絵本で自由に遊びながら楽しいひと時を過ごしています。

2 工夫していること

子どものペースでゆっくり過ごせて、保護者もほっと一息つける場所となっています。 自由に過ごせるように、季節のイベント等は行っていません。サロン終了後に、親子同士でカフェに行かれる方もいます。 ▲ 開催日:毎月第2金曜日 10:00~12:00

● 参加人数:約22名



3 大事にしていること

ボランティアは、保護者に声を掛けたり、子どもと遊んだりしますが、基本的には親子を温かく見守っています。小さい頃から、友達や大人と触れ合うことが、貴重な体験になると思っています。



令和5年度 共同募金の使いみち

【博多区】席田校区社会福祉協議会

席田オータムフェスタ

共同募金助成事業

こんな活動をしています

席田校区社会福祉協議会では、校区の秋祭りで被災地支援のブースを展開しています。

今年度はうきは市の豪雨被害を受けた地域の野菜を仕入れ、ブースで販売するかたちで被災地を支援しました。

開催日:令和5年11月3日(金・祝)

● 参加人数:約500名

● 開催場所:席田公民館



2 工夫していること

被災地の野菜販売は、地元のJAと連携して行っています。野菜を販売して、売上金を寄付するだけでなく、被害を受けた地域まで足を運び、現地の声を聞いたうえで活動をするように心がけています。

3 大事にしていること

被災地支援は長期に渡りますが、時間が 経つにつれて興味、関心が薄れていきま す。些細な取り組みではありますが、被 災地支援のブースを展開することで、災 害を思い出すきっかけにできたらと考え ます。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】月隈校区社会福祉協議会

子育て交流サロン こぐまサロン

こんな活動をしています

乳幼児期の子育てを通して、子どもと保 護者、地域のボランティアの方々が集い、 子育ての楽しみや悩み等について語り合い、 心なごむ時と場所でありたいと願って実施 しています。

工夫していること

チラシや年間計画を配布したり、インスタ グラムを通した情報発信を行っています。ま た、参加して良かった、学べたと思ってもら えるように、七夕やクリスマス会、子どもの 手形・足形とり等を行ったり、保育士等を講 師として招いて「育児相談会」も開催したり しています。

開催日:毎月第2火曜日

参加人数:96組191名



● 開催場所:月隈公民館



大事にしていること

公民館にて、より多くの子育て世代が、 子育てを通して集い・つないで・学ぶこと ができるように、と思い活動しています。



令和5年度 共同募金の使いみち 【博多区】東月隈校区社会福祉協議会

共同募金助成事業

高齡者演奏会

こんな活動をしています

毎年開催している高齢者会食会がコロナ の影響で中止せざるを得なくなりましたが、 演奏会を開催して地域のみなさんと音楽を 楽しみました。

工夫していること

みなさんで一緒に楽しめるような内容を 考えています。今回は、精華女子高校吹奏 楽部のみなさんをお招きしました。素晴ら しい演奏に、とても喜ばれていました。

開催日:令和5年11月12日(日)

参加人数:390名

開催場所:東月隈小学校体育館



大事にしていること

コロナ禍で自宅から出る機会が少なく なっても、つながりをつくることができ るよう、これからもアイデアを出し合っ ていきます。